

申立書

年 月 日

碧南市長 殿

所有者 住所 _____

氏名 _____

このたび、私が建築又は取得した下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋の表示

所在地 碧南市

家屋番号 _____ 番

2 入居予定年月日 _____ 年 月 日

3 現在の家屋の処分方法等（該当する番号を○印で囲むこと。）

- (1) 売却する。 【売買契約(予約)書、売買媒介契約書等の写し】
- (2) 賃貸する。 【賃貸借契約(予約)書、賃貸借媒介契約書等の写し】
- (3) 借家、借間、社宅、寄宿舍、寮等である。
- (4) 親族等が居住する。【親族等の申立書】
- (5) その他()

4 入居が登記の後になる理由（該当する番号を○印で囲むこと。）

- (1) 資金調達上抵当権設定を急ぐため。
- (2) その他()

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても意義ありません。